

第66回日本農村生活研究大会 in 北海道

プログラム

期 日：平成30年12月8日（土） 13:00 ～ 15:40
9日（日） 9:00 ～ 16:00

会 場：北海道立道民活動センター（かでの2.7）

札幌市中央区北2条西7丁目

★ 公開シンポジウム 8日（土） 13:20～15:40

会場：820号室（かでの2.7 8階）

『過去から学び未来へつなぐ、むら・ひと・暮らし』

① 基調講演：荒川 義人 氏（札幌保健医療大学教授）

『北海道農業の未来を拓く！一鍵は、道産農産物の魅力づくりと食育の推進ー』

② パネルディスカッション

座 長： 黒澤 不二男 氏（北海道地域農業研究所顧問）
報 告 者： 木村 恵 氏（上川農業試験場）
九栗 貞子 氏（マンマのネットワーク）
小内 純子 氏（札幌学院大学教授）

★ラウンドテーブルA 9日（日） 13:20～15:20 会場：730号室

「北海道における食文化の継承と発展」

コーディネーター：佐久間 亨 氏（北海道農業会議専務理事）
話 題 提 供 者： 黒澤 不二男 氏（北海道地域農業研究所顧問）
コメンテーター： すずき もも 氏（スローフードフレンド札幌代表）

★ラウンドテーブルB 9日（日） 13:20～15:20 会場：310号室

「農業経営と家庭生活のバランス」

コーディネーター：正木 卓 氏（弘前大学助教）
話 題 提 供 者： 夏井 岩男 氏（ファミリーファーム夏井代表）
コメンテーター： 原 珠里 氏（東京農業大学教授）

主 催：日本農村生活学会

後 援：北海道農政部 北海道農業協同組合中央会 公益財団法人北海道農業公社

【 第 1 日 12 月 8 日 (土) 】

受付開始 12:00～

(1) 開 会 式 13:00～13:15 (会場：かでの 2.7 820 号室)

大会総合司会：井上 淳生 氏 (北海道地域農業研究所)

学会長挨拶：安倍 澄子 会長

大会実行委員長挨拶：坂下 明彦 委員長

(2) 公開シンポジウム 13:20～15:40 (会場：かでの 2.7 820 号室)

『過去から学び未来へつなぐ、むら・ひと・くらし』

① 基調講演：荒川 義人 氏 (札幌保健医療大学教授)

「北海道農業の未来を拓く！一鍵は、道産農産物の魅力づくりと食育の推進」

② パネルディスカッション

座長 黒澤 不二男 氏 (北海道地域農業研究所顧問)

報告者

(1) 木村 恵 氏 (上川農業試験場)

「農村生活における普及制度の歩んできた道」

(2) 九栗 貞子 氏 (マンマのネットワーク)

「女性農業者の自立に向けたプロジェクト活動の実際」

(3) 小内 純子 氏 (札幌学院大学教授)

「どうやって壁を乗り越えていくのか？」

総括コメント：飯澤 理一郎 氏 (北海道地域農業研究所所長)

2018 年は「北海道」命名 150 年の節目となる年です。本道は、縄文文化、アイヌ文化等、独自の歴史、文化の土壌のうえに成り立ってきました。明治期以降は、このうえに全国各地からの移住者の歴史、文化が合流することで今日の北海道の姿が形づくられてきました。しかし、ここで忘れてはならないのが、先人達による開墾、集落形成への血のにじむような努力が今日の北海道の礎となっているという点です。

彼 (彼女) らは、厳しい自然環境とどのように向き合ってきたのか。数多の現実的課題に対してどのように対処してきたのか。農業経営の基盤をいかに支え、生活の充実をどのように図ってきたのか。150 年というひとつの節目を迎えるにあたり、私達が拠って立つ北海道の農村の来し方に思いをめぐらすことは、今後を展望するうえで極めて重要な作業となるはずで。本シンポジウムでは農村生活の建設に奮闘した先人達の足跡を振り返り、未来に向けた農村づくりについて考えます。

(3) 情報交流会

18:00～20:00

会場：イルニード デルパスト

(札幌市中央区大通東 4-4-45)

【 第2日 12月9日(日) 】

(1) 一般報告 (9:00 ~ 10:00) (10:10 ~ 11:10)

★ A会場：8階820号室 1人20分(報告15分 質疑応答5分を目安に)

A-1 (9:00 ~ 10:00) 座長：市田 知子(明治大学)

① 農村女性起業における若年層雇用者のキャリアデザイン

京都府立大学大学院 ○中村 貴子
元京都府立大学生命環境学部 樋口 瑠子
農研機構中央農業研究センター 澤野 久美

② 社会的参画の段階からみた農家女性の変容

—NPO 法人安心院町グリーンツーリズム研究会を事例として—

和歌山大学 ○植田 淳子
和歌山大学 藤田 武弘

③ SNSを使用した新しい農村女性のグループ活動

—埼玉・農業女子キャリアアップ講座1期生を事例に—

東京農業大学大学院 ○稲垣 京子
東京農業大学 原 珠里

A-2 (10:10 ~ 11:10) 座長：納口 るり子(筑波大学)

④ 農村における移住者の参画した地域づくりの展開条件

宇都宮大学大学院 ○一ノ瀬 佑理
宇都宮大学 西山 未真

⑤ 女性農業者の生活視点を生かした起業活動の取り組みと変化

北海道女性農業者倶楽部「マンマのネットワーク」 ○鈴木 由加
北海道女性農業者倶楽部「マンマのネットワーク」 山田 富江

⑥ 女性農業者の自立に向けた地域活動の取り組み

北海道女性農業者ネットワーク「きたひとネット」 中村 由美子

★ B会場：7階 730号室 1人20分(報告15分 質疑応答5分を目安に)

B-1 (9:00 ~ 10:00) 座長：小内 純子(札幌学院大学)

① 農業法人継承予定者の成長過程—ムラのしがらみをどこまで解きほぐすか—

農研機構中央農業研究センター 飯坂 正弘

② 「嫁ぎ先」としての農村—北海道における農業青年結婚支援事業を事例に—

一般社団法人北海道地域農業研究所 ○井上 淳生
NPO 法人北海道マリッジ・カウンセリングセンター 秋元 元子

③ 北海道における農協の生活購買活動・事業の展開と現在の利用状況

北海道大学大学院 ○星野 愛花里
北海道大学農学部 坂下 明彦

B-2 (10:10 ~ 11:30) 座長：荒樋 豊 (秋田県立大学)

④ 農業、農村に関する社会認識の形成—体験と学校教育の視点から—

関東学院大学 佐藤 幸也

⑤ 森林バイオマスの利用が農村社会に与える効果の研究
—「木の駅プロジェクトなかがわ」を事例として—

宇都宮大学大学院 ○石森 睦深
宇都宮大学 加藤 弘二
宇都宮大学 児玉 剛史

⑥ 農村社会における起業と組織均衡

東海大学 木佐森 健司

⑦ 農村を対象とした生活の質 (QOL) 研究の再検討

千葉大学 櫻井 清一

★ C会場：3階 310号室 1人20分 (報告15分 質疑応答5分を目安に)

C-1 (9:00 ~ 10:00) 座長：佐藤 奨平 (日本大学)

① 大規模学校給食調理施設への地場食材供給の課題

愛知県立大学 山田 浩子

② 予算制約時における食事形態選択の意思決定プロセスの特徴

東京農業大学大学院 ○玉木 志穂
東京農業大学 大浦 裕二
農研機構中央農業研究センター 山本 淳子

③ 国内事例からみたジビエ利用による農村振興モデル

農研機構農村工学研究部門 唐崎 卓也

C-2 (10:10 ~ 11:30) 座長：高木 茂 ((株) NTC インターナショナル)

④ インドネシアガルト県バルドゥア村におけるイチゴ産地衰退の要因

東海大学 木ノ内 均

⑤ コスタリカにおける生活改善モデルプロジェクトの成果と課題

玉川大学 太田 美帆

⑥ 韓国における農村生活改善事業の展開と女性の役割
—生活改善会、韓国女性農業人中央連合会を中心に—

北海道大学大学院 パク イェソル

⑦ 現代中国の少数民族地域における牧畜業発展と専業合作社の展開に関する研究
—新疆北部のカザフ族社会を事例として—

法政大学大学院 冒 茜茜

(2) 昼食 11:30 ~ 12:30

<北海道立道民活動センター（かでの2.7）までの交通アクセス等ご案内>

★JR 札幌駅から徒歩 13 分。詳細は、下記の地図および施設 HP をご覧ください。

アクセスマップ



<情報交流会会場（イルニード デルパスト）までの交通アクセス等ご案内>

★JR 札幌駅から徒歩 20 分。詳細は、下記の地図およびお店 HP をご覧ください。

